資料３

参考資料（埼玉県朝霞市）

第〇期朝霞市地域福祉計画及び第〇期朝霞市地域福祉活動計画

策定支援業務委託に係るプロポーザル実施要領

１　趣旨

　　　本要領は、第〇期朝霞市地域福祉計画及び第〇期朝霞市地域福祉活動計画策定支援業務を委託するに当たり、プロポーザル方式により優先交渉権者を選定するための、各種手続、要件及び審査等の内容について、必要な事項を定めるものである。

２　委託の概要

(１)　委託の名称

第〇期朝霞市地域福祉計画及び第〇期朝霞市地域福祉活動計画策定支援業務委託

(２)　委託の内容

別紙「第〇期朝霞市地域福祉計画及び第〇期朝霞市地域福祉活動計画策定支援業務委託仕様書（以下、仕様書という。）」のとおり。

なお、仕様書内で規定した委託する業務の内容は、第〇期朝霞市地域福祉計画及び第〇期朝霞市地域福祉活動計画（以下、第〇期計画という。）の策定に必要と思われる事項を示したものであり、仕様書の掲載のない事項についての提案を妨げるものではない。

実際に委託する業務の内容は、本プロポーザルにより選定された優先交渉権者の企画提案書を基に、市と契約締結に向けた協議及び調整を行った上で決定する。

(３)　履行期間

契約締結の日から令和〇年〇月〇日まで

（４）留意点

　　　本プロポーザルは、令和〇年度の予算の成立前に準備行為として実施するものであり、当該予算が減額又は否決された場合、変更または中止することがある。

３　委託料上限額

－　円（消費税及び地方消費税を含む。）を上限とする。

４　実施形式

公募型プロポーザル方式とする。

**評価の考え方**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 採　点　項　目 | 採　点　欄 |
| １ | 計画の特徴や、社会的背景など、本計画についての理解 | 地域福祉計画及び地域福祉活動計画について、制度の内容や、計画策定全般についての理解があることが見受けられるか。 |
| ２ | 本市の現状を踏まえた提案 | 朝霞市の地理的条件、人口推移、福祉の現状などを踏まえた提案がなされているか。また、朝霞市の独自性が見受けられ、市の将来像を見据えた提案となっているか。 |
| ３ | 提案書全体は、論理性や的確性に優れた表現で構成されているか | 提案書が論理的かつ的確に構成され、分かりやすくなっているか。専門用語には、脚注をつけるなどして、評価者に理解しやすい配慮がなされているか。 |
| ４ | 計画の内容とスケジュール案は、具体的・明確に提案され、無理はないか | スケジュール案が図表等で具体的になっているか。段取り等が分かりやすくなっているか。提案された内容とスケジュール案が実現可能なものとなっているか。 |
| ５ | 予定される担当者の経験 | 予定された担当者の経験（実績）がどれくらいあるか。また、責任者及び担当者の能力が的確であり、配置される人員による組織運営体制が適正であり、業務履行期間内の連絡体制の確保等が十分になされることが確認できるか。 |
| ６ | 類似事業の実績 | 官公庁等における類似事業の実績があるか。 |
| ７ | 次期計画に盛り込むべき内容についての知識や手法を持っているか | 盛り込むべき内容への理解があることが見受けられるか。 |
| ８ | 社会福祉協議会との協働についての取組等を踏まえた提案 | 計画を協働策定するにあたり、取組や策定支援体制について、具体的な記述があるか。協働策定のポイントについて、具体的な記述はあるか。 |
| ９ | 自由提案 | 自由提案の有無提案内容は、明確で分かりやすいか。提案内容は、実施可能であり効果が高いか。 |